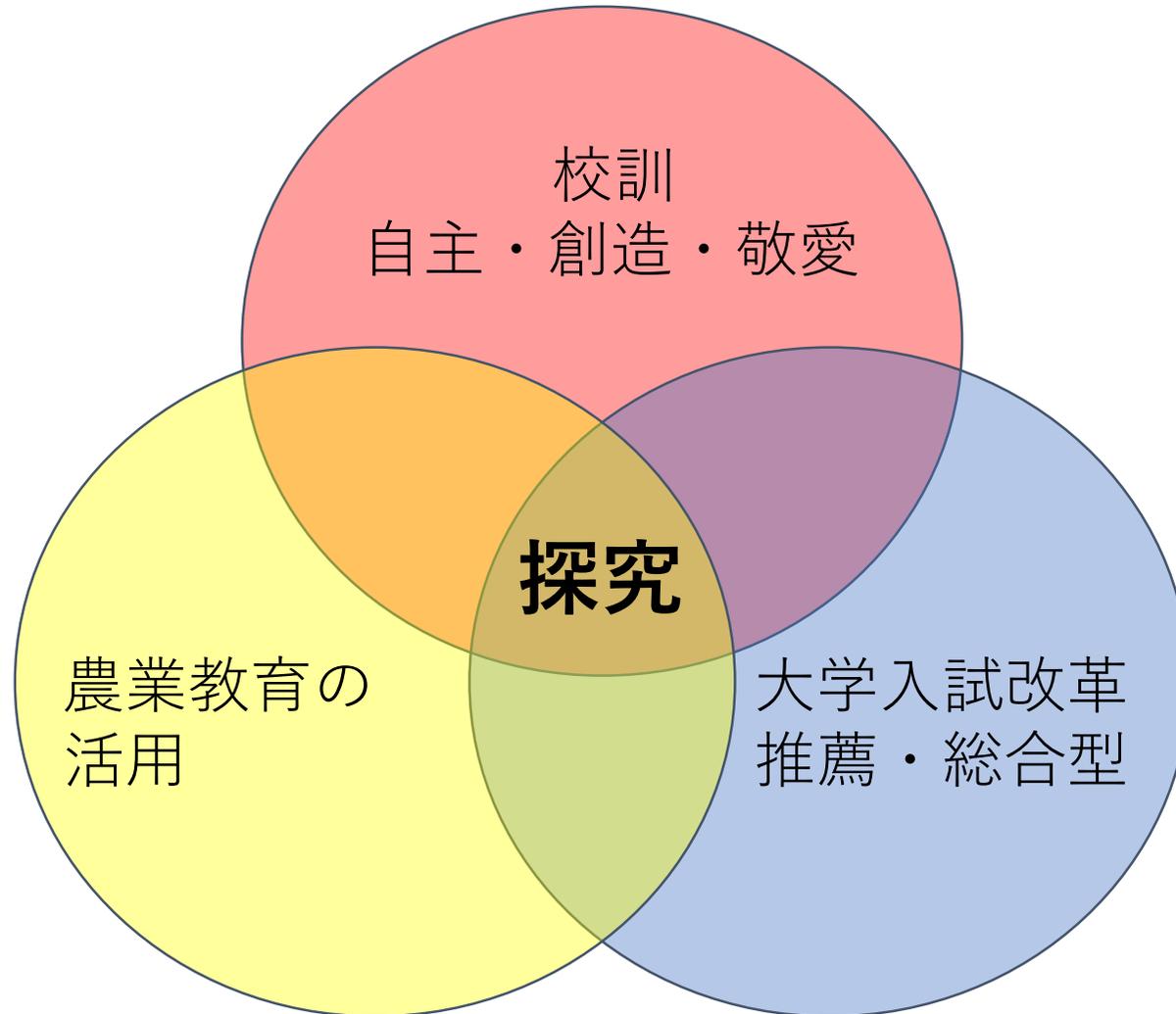




# 普通科の 総合的な探究の時間について

# 【三農普通科が探究学習を大事にする理由】



## 【校訓について】

本校の校訓は

自主（自ら学ぶ）

創造（学び生み出す）

敬愛（友と学ぶ）です。

自ら課題を考え、解決のためのアイデアを創造し、友と協力しながら解決の実践に取り組む、正に本校で育てたい生徒像を体現するために重要な教育活動が、普通科では「総合的な探究の時間」と考えています。

## 【農業教育の活用】

三農を含めた農業高校には「課題研究」という授業があります。各研究室に分かれ、農業の授業で得た知識・技術を生かしながら、地域の課題を捉え、解決に向けた実践を行うものです。

三農で培われた「課題研究」のノウハウを普通科でも生かすことで、他の普通科にはない充実した探究活動が進められます。

また、学年全体の発表会、学校全体の発表会が学校行事として位置づけられており、探究学習の成果を学校全体で共有する伝統もあるため、探究学習を進める環境が整っています。

## 【大学入試改革】

今、大学入試は変わろうとしています。

1点を争うペーパーテストでの「知識の再生」能力を問う入試から、「主体性」や「思考力」「判断力」「表現力」を問う入試にシフトしています。

実際に、大学入試において、「主体性」「思考力」「判断力」「表現力」を問う推薦・総合型選抜の募集割合は増加の一途をたどっています。

三農普通科の総合的な探究の時間（総探）では、  
毎年生徒自身が主体的に

- |           |          |
|-----------|----------|
| 1 課題設定    | 2 調査・計画  |
| 3 課題解決の実践 | 4 まとめ・発表 |

といった一連の学習活動に取り組むことで、生徒の課題  
発見・解決能力、創造性、協働性、表現力、各教科に関する  
知識を身に付けさせたいと考えています。

**【我々が総探で大事にしていること】**

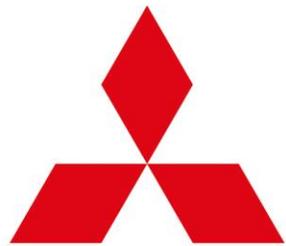
それは、「生徒の主体性を育む」ことです。

- ・ 課題の設定
- ・ 校外への連絡、協力依頼
- ・ 解決のためのアイデア出し
- ・ 実際の調査、課題解決のためのアクション

これらは生徒自身で行いました。

R5年度からR7年度までの3年間、普通科の探究学習について、三菱みらい育成財団から助成いただくことになりました。助成金を活用して、

- ・外部講師、団体等との連携
- ・課題発見に関する情報の充実
- ・探究学習伴走のための教員研修
- ・フィールドワーク、外部発表の充実を図ります。



一般財団法人

三菱みらい育成財団



# 1年生の 総合的な探究の時間について

1年生は初めて探究に取り組むこと、十和田市がセーフコミュニティの国際認証を受けていることなどから、

「三農生が考えるセーフコミュニティ」

を共通テーマとして探究活動を行うこととしました。

1年生は

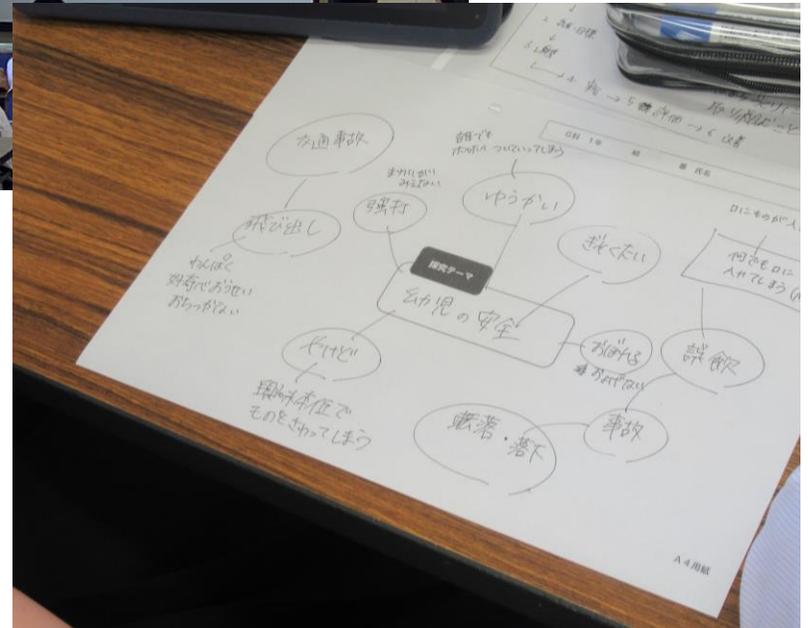
- ・交通安全
- ・火災予防
- ・幼児の安全
- ・高齢者の安全

から小テーマを1つ選び、同じテーマの生徒で4名程度のグループを作り、各班で課題を掘り下げ、解決のためのアクションに取り組みました。

# ① セーフコミュニティの講義

## ② テーマ検討

十和田市出前講座を活用し、セーフコミュニティとはどういうものか講義していただきました。その後、各班でどんなことが課題になっているか、意見を出し合いました。



### ③ 研究計画書の作成・調査

2学期に各班でアクションを実施するため、夏休み中に研究計画書を作成しました。また、班によっては校外に出て調査活動を行い、安全対策に関する現状を伺ったり、資料を提供していただいたりしました。



## ④ プロジェクト

9月から約1カ月かけて、各班で課題解決のためのアクションを行いました。今年度はアクションを3回に分けて実施し、うまくいかなかった班は、アクションを再チャレンジしていました。



## ⑤ 三農祭

1年生は、プロジェクト実施後、取組やその結果について振り返りを行い、スライドでまとめたものを三農祭普通科展において展示しました。展示を御覧になった方々には感想やアドバイスを書いて付箋を貼っていただきました。



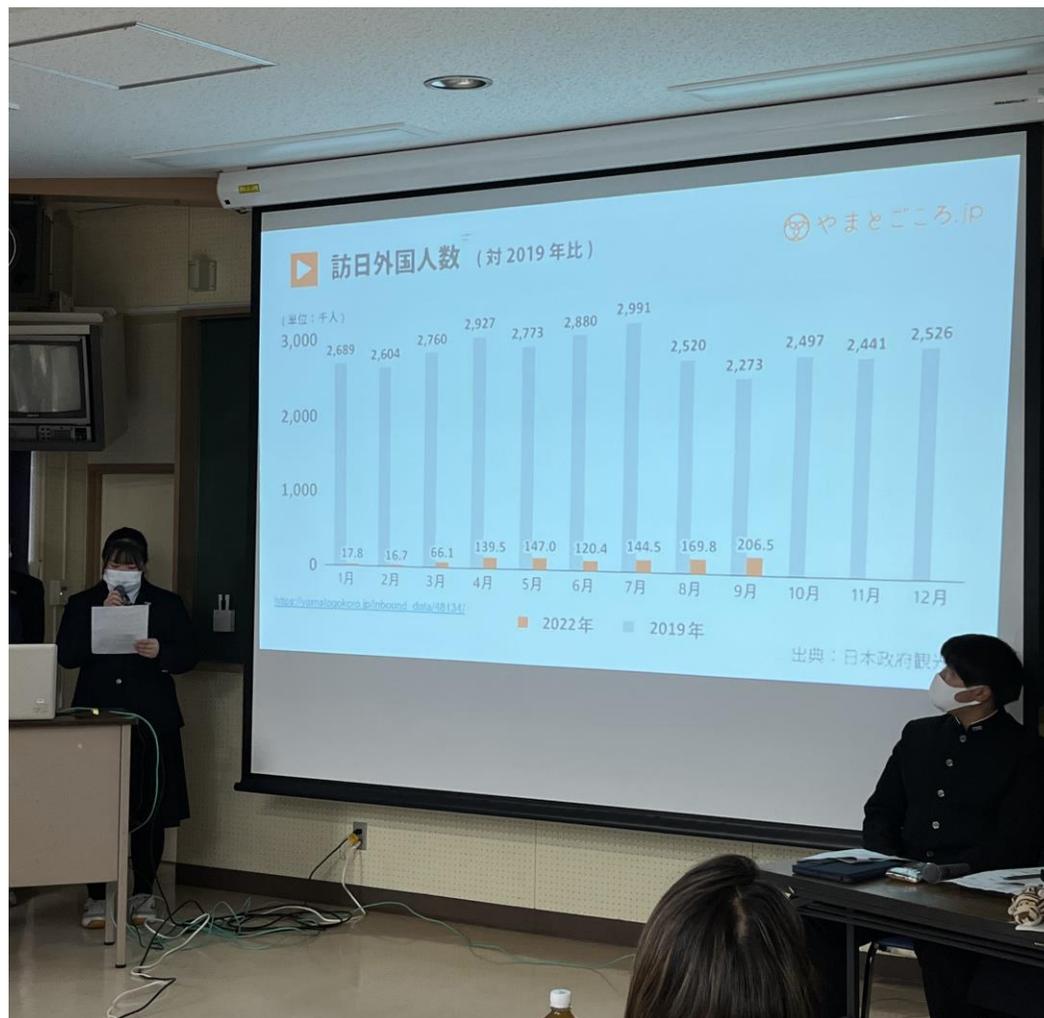
## ⑥ (株) MOVED 渋谷さんによる研修

1年生は本格的にプレゼンするのが初めてという生徒が多いため、プレゼン研修等を手掛けている(株)MOVED代表取締役の渋谷雄大さんにプレゼンについて講義していただいたあと、実際に生徒に指導いただきました。



## ⑦ 1年普通科総探発表会

これまでの課題研究の総まとめとして、11月20日に発表会を開催しました。探究活動に取り組んだすべての班が発表を行い、相互評価を行いました。また、八戸学院大学 井上 丹先生、十和田市役所まちづくり支援課の方などにも見ていただき、御講評をいただきました。



# 1年生の主な探究テーマ

- ・死角を視覚的に（見通しの悪い交差点の解決）
- ・一時停止～止まれの色を変身～
- ・もうやめましょうよ一時不停止命がもったいない！！
- ・自転車ヘルメットの着用率の向上を目指して
- ・コンセントプラグについて
- ・火災予防（コンロ火災の予防）
- ・意外と多い電気火災
- ・誤飲を未然に防ごう！
- ・幼児の安全（安全なおもちゃづくり）
- ・幼児の安全～誤飲を防ごう～
- ・幼児の安全～公園での幼児の安全を守る～
- ・幼児の安全～喉に詰まらないゼリーを作ろう～
- ・幼児の転落
- ・認知症について～これからの家族のために～
- ・高齢者の避難場所～にこにこプラザ六戸付近 v e r ～
- ・シニアライフクリエイト

## ⑧ 1年合同発表会

1年普通科総探発表会で選ばれた代表1班が、1学年植物科学科・動物科学科・環境工学科・食品科学科との合同発表会で発表を行いました。この合同発表会は統合前の三本木農業高校の時代から毎年行っている1年生の研究活動の発表会です。普通科の生徒も参加することで、これまで三本木農業高校で培ってきた探究型学習のノウハウを活用しています。





# 2年生の 総合的な探究の時間について

## 【2年生の総合的な探究の時間】

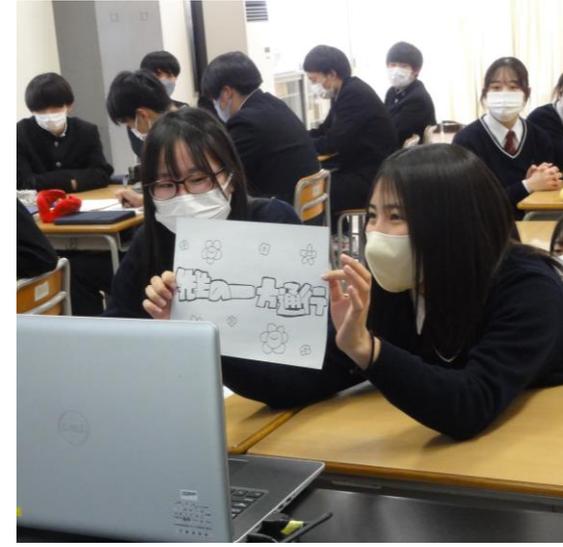
探究活動のサイクルやグループによる活動は1年生と同様に取り組みました。

一方、今年度は「地域課題研究」ということで、テーマの制限は設けず、各自が自由に課題を考えました。

大きな流れは1年生と変わらないため、より探究が充実するために2年生で実施した取組を紹介します。

# ① 課題解決のアイデアの出し方

2年生の総合的な探究の時間では、自分で課題を設定し解決策を考えることとなります。これが総探では一番面白く、難しい活動です。そこで1年生の3学期に元博報堂の社員であり探究やプロジェクトについての著作もある大木浩士さんに課題設定・解決のためのワークショップをオンラインで実施していただきました。テーマは「授業を面白くするアイデア」でした。



## ② 探究の事例を知る

探究の先進事例について知るため、鳥取県の青翔開智中学校・高等学校の織田沢博樹校長先生から同校の取組や考え方についてオンラインで講義いただきました。



### ③ 八戸学院大 井上先生の講義・演習

### ④ 地域の課題をワールドカフェ形式で聞く

2年生では、地域の課題を探するため、八戸学院大学井上先生のお話を伺った後、地域の方々に集まっていたいただき、地域の方々が取り組んでいる地域課題解決の取組について、ワールドカフェ形式でお話を伺いました。



## ④ プロジェクト

9月から約1カ月かけて、各班で課題解決のためのアクションを行いました。今年度はアクションを3回に分けて実施し、うまくいかなかった班は、アクションを再チャレンジしていました。



## ⑤ 2年普通科総探発表会

これまでの課題研究の総まとめとして、12月12日に発表会を開催しました。探究活動に取り組んだすべての班が発表を行い、相互評価を行いました。八戸学院大学 井上 丹先生、(株) MOVED 渋谷 雄大 代表取締役、十和田市役所まちづくり支援課の方などにも来校いただき、御講評をいただきました。



# 2年生の探究テーマ一覧

- ・地産地消で十和田を町おこし
- ・ニキビ撲滅しよう
- ・子どもの嫌いな食べ物を減らす
- ・図書館と農業に親しもう
- ・郷土料理を広めよう
- ・親になる魅力を伝えたい
- ・だし活・だす活
- ・運動と健康
- ・十和田の魅力
- ・睡眠と健康
- ・無理のないダイエットを
- ・通学路の環境を整えよう
- ・服に関わる環境問題を減らそう
- ・運動部員の食生活を改善しよう
- ・地域の食材を使ってレシピを作り、地域を活性化しよう
- ・子どもに運動の楽しさを伝えよう
- ・小学生同士の交流の場をつくろう
- ・中学生の進路の悩みを解決しよう

## ⑥ プロジェクトオブザイヤー

2年普通科総探発表会で選ばれた代表の班が「服に関わる環境問題を減らそう」のテーマで、全校の課題研究発表会であるプロジェクトオブザイヤーで発表しました。このプロジェクトオブザイヤーも普通科にはない大々的な行事です。



## ⑦ ポスターセッションングランプリ

これも三農ならではの行事で、3月に全校一斉によるポスター発表会を実施しており、普通科の2年生全ての班がポスターを作成し、発表しています。（写真は昨年度のもの）



聞いたことをきっかけに農山村の活性化に興味を持った。記事を見つけた。農山村の活性化のためには関係人口を増加させる方法の一つとして農家民宿を調べることにした。

**関係人口とは**  
観光等で訪れ地域とはほとんど関わらない「交流人口」でも移住した定住者を表す「定住人口」でもない**関係人口**。観光以上・定住未満の中間的な概念を示す言葉。  
- その地域が好きで頻りに行きたい人  
- 過去に訪ねて来た人・働いていた人  
- その地域に対して強い思い入れがあり、地域づくりに参加する気意がある人

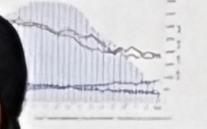


**お母さんの家の民宿について**  
- 有益な情報は得られなかった  
- 母や祖母から直接聞く  
?   
生徒が多い

方法の一つとして有効なことがわかった。これから活性化や関係人口について学びたい。また関係人口なので実際に体験しながら、学んでいきたい。そして農の文化や歴史を知りたい。

私は、移住に興味を持ったのはどのように地域活性化に貢献できるか考えた。どのようにすれば移住してもらえるのか企画目的のを作った。個性を出すこと

**企画書**  
・人口減少の深刻さ  
・都市一極集中  
・農業の魅力



会議(市外への転出など)の人口が減少している。止めることができない。少子高齢化により実現するため、都市か

**考察**  
人口減少が深刻になってい。定住活動は力が入っているかは対策とれていないと感じた。意識が起きているにもかかわらず費用だ。  
都市一極集中はおおげさに本を教っているとい

現代は第三次産業が全盛期の交通網や情報網が受えて、入っているところが第三次産業は

しかし、私たちの地方には農一次産業が主眼である。このを都市に広める。何年か、何十力を持った都市部の人を地方に引っ張る。人口減少の

**結論**

農業の魅力を伝えれば、移住ことができると思った。都市一極しているのを知り、私たちの地に住居して貰えな。都市部の人を地方に引っ張る。人口減少の

獅子舞



# 3年生の総合的な探究の時間について

## 【3年生の総合的な探究の時間】

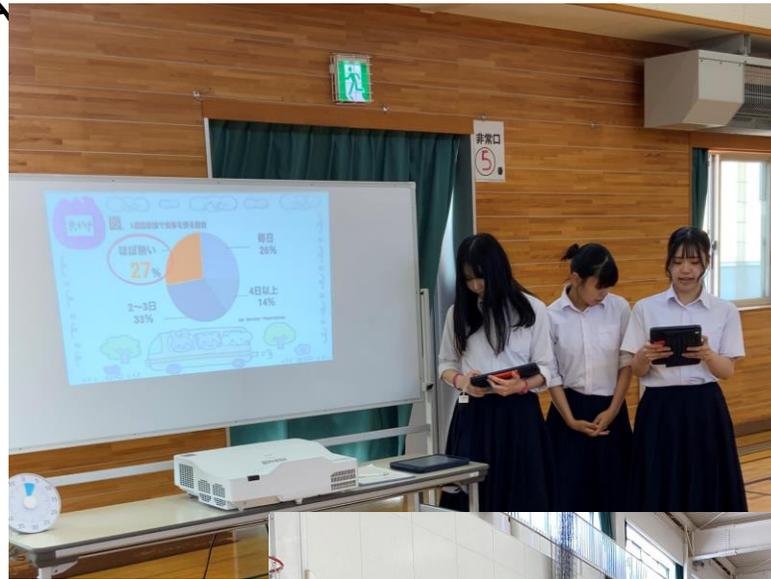
探究活動のサイクルは1、2年生と同様に取り組みました。

一方、今年度はより生徒自身のマイテーマについて探究できるよう、テーマによって個人での探究も可としました。

3年生の特徴ある取組を紹介します。

# ① 計画の中間発表会

3年生ではこれまでにない取組として、課題研究の中間発表会を実施し、今後行うプロジェクトをどう進めれば良いかなどについて、生徒同士はもちろん、講師の先生方からも貴重なアドバイスをいただきました。



## ② プロジェクト

9月から約1カ月かけて、各班で課題解決のためのアクションを行いました。今年度はアクションを3回に分けて実施し、うまくいかなかった班は、アクションを再チャレンジしていました。



### ③ 3年ポスター発表会

発表形式として、プレゼン発表は1・2年、ポスター発表は2・3年生で実施しております。3年生のポスター発表会を11月16日に実施し、外部講師の講評をいただきながら、全ての生徒が発表に取り組みました。この後、最後のまとめとして研究要綱の作成を行います。



# 3年生の探究テーマ一覧

- 1人ひとりにあったスポーツを探す！
- アレルギーで苦しむ人をなくすために
- 食
- 家庭での食品ロスを減らそう！
- みんな知ってるよね 青森県の郷土料理  
part 2
- 郷土料理から食品ロスの知恵を学ぶ
- 食品ロス削減～キャベツの葉を使ったキャンドル作り～
- 緩和ケアについて
- 発達障害 ～コミュニケーションの問題～
- 歯からの健康
- 災害医療～応急処置と防災～
- 健康になろう大作戦！
- 子どもに選択肢を
- 高齢者のみなさん、旅行気分を味わおう
- 階上の震度が大きくなる原因について
- 地方移住における課題解決への一歩
- 農山村の活性化
- 地域活性化～人とのつながりについて～
- 保護猫
- 地元企業の活性化
- ゴミのポイ捨てを減らそう！
- UD商品開発部
- 日本が黒髪主義の理由～金髪への偏見を減らすためには～
- 十和田市の空き家の活用～高校生が考える～
- 発達障害の子どもが自信を持って生活するために
- 次の日に疲れを残さないために
- 使用済みの化粧品容器の削減とリサイクル
- 子どもの孤食にアプローチ！！
- Z世代の体づくり

# 探究と進路

探究学習の成果やそのプロセスで身につけた力を生かして進路を達成しています。

## R 5 年度普通科 3 年生国公立大学進学先と探究テーマ

進学先	探究テーマ
弘前大学工学部地球環境防災学科	階上の震度が大きくなる原因について
福島大学人文社会学群行政政策学類	農山村の活性化
青森県立保健大学健康科学部看護学科	緩和ケアについて
青森県立保健大学健康科学部社会福祉学科	みんな知ってるよね 青森県の郷土料理 part 2
青森公立大学経営経済学部経済学科	地方移住における課題解決への一歩
青森公立大学経営経済学部地域みらい学科	十和田市の空き家の活用～高校生が考える～
青森公立大学経営経済学部地域みらい学科	食品ロス×郷土料理